

IV 選択的評価事項B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

1 選択的評価事項B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」に係る目的

本校で開設する公開講座・技術研修会などの地域貢献活動や、図書館や体育館などの施設を地域住民へ開放する地域福祉への貢献活動といった「正規課程の学生以外に対する教育サービス」を行う目的は、以下のとおりである。

- (1) 各学科の専門性を活かした公開講座・出前講座などを通して、小中学生等にはものづくりや科学などへの啓蒙を行い、一般社会人には生涯学習の機会を与えて地域に貢献すること。
- (2) 学校の施設を開放することによって、設備の有効利用と地域住民の福祉に貢献すること。
- (3) 研究生，聴講生，科目等履修生等の受け入れ制度によって，学習する機会を提供し，その要望に応えること。

2 選択的評価事項B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」の自己評価

(1) 観点ごとの分析

観点B-1-①： 高等専門学校の教育サービスの目的に照らして、公開講座等の正規課程の学生以外に対する教育サービスが計画的に実施されているか。

(観点到に係る状況)

本校では正規課程の学生以外に対する教育サービスとして、公開講座・出前講座などの校外向け講座、研究生・聴講生等の制度による学習機会の提供、図書館などの施設開放などを以下のような内容で計画的に実施している。

本校で実施している公開講座等の校外向け講座は、『公開講座』『出前講座』『ジョイント講座』の3つに大別される(別添資料B-1-①-1)。

『公開講座』は、主に米子高専の施設設備を活用して行う講座で、受講者の募集・受付を総務課企画協力係で行い、当日の運営も本校のスタッフで行う形態の講座である。平成18年度に実施した公開講座の一覧を資料B-1-①-1に示す。小中学生から社会人まで幅広い年齢層向けの講座を開講しており、内容も理科系のみでなく、図書館情報センターが実施する「文化セミナー(資料B-1-①-2)」などの文化系の講座も開講するなど多様なものである。図書館情報センターの端末室を活用した「初心者のためのパソコン教室」や、ものづくりセンターの設備を活用した「ミニたたら製鉄によるものづくり教室」などでは、地域住民へ学校施設を開放し、有効利用している。平成12年以降、公開講座の実施件数は、年間10件前後と年度ごとに変化はないが、これは多年にわたって公開講座を実施し、年度ごとに内容を改善してきた結果である(資料B-1-①-3)。

『出前講座(資料B-1-①-4)』は、平成17年度から正式に開講した講座である。本校で企画した講座に対して他機関・他団体からの講師派遣依頼を企画協力係にて受付、校外の施設にて実施する形態をとっている。本校は派遣依頼の募集及び講師の派遣のみを担当し、受講者の募集や当日の運営などは他機関が行う形式のものである。出前講座では、幼稚園児から対象とする「こども科学体験教室(資料B-1-①-5)」から、高齢者を対象とする高齢者対象の「あなたの骨は大丈夫(資料B-1-①-6)」まで、前述の公開講座以上に幅広い年齢層へ対応しており、内容も多岐にわたっている。平成18年度の実施件数は43件となり、前年度の16件から約2.7倍に急増した(資料B-1-①-3)。この増加は、小学校の保護者会や公民館などから小学生向け理科系講座への高い需要があり、それに応えた形で講座内容を企画・計画したことによる。

『ジョイント講座(資料B-1-①-7)』は、他機関・他団体と共同で講座内容を企画するもので、受講者募集・広報・会場運営のほとんどを他機関が行い、本校教員が講師を務める形態をとっている。平成18年度までに、米子市児童文化センターなどとの連携により「天体観測会(資料B-1-①-8)」を行ってきた。平成18年度の実施件数が9件と急増した(資料B-1-①-3)のは、他機関との連携が強化されたためで、平成19年1月には、財団法人米子市教育文化事業団との連携協定(資料B-1-①-9)を正式に結び、平成19年度から「天体観測会」以外の新たなジョイント講座も計画している。

これらの公開講座等の計画は、各講座の主担当となる教員もしくは技術職員らが立案し、講座を実施する前年度の2月末頃までに公開講座等実施計画書(資料B-1-①-10)を作成して地域共同テクノセンター(以下テクノセンターと記す)へ提出する。テクノセンターではこれらの計画書と他行事等の日程を考慮して各講座の日程などを調整・決定し、全公開講座等の計画案を作成する。計画

案は学科長会議での承認を得ることで開講が正式決定される。公開講座・出前講座等の情報は、「イベントガイド（資料B-1-①-11, 別添資料B-1-①-1）」を作成し校外へ配布している他、新聞のイベント告知欄や本校Webページなどで告知している。

公開講座等の教材費等は受講者の負担となるが、公開講座「中学生のためのやさしい電子制御回路教室」は財団法人マツダ財団（資料B-1-①-12）の助成を、出前講座「こども科学体験教室」の1テーマである“見える見えないひかりの不思議”の教材開発には財団法人理工学振興会（資料B-1-①-13）の助成を受けるなどして受講者の経済的負担を軽減する方策をとった。

上記の講座以外にも、教務部が主体となって中学校3年生を対象とした学校体験入学「オープンキャンパス」を行っている（資料B-1-①-14）。例年、年1回7月下旬に各学科の実験を体験する催しを実施していたが、平成18年度からは、7月と11月の年2回の実施とし、11月には一般科目の模擬授業も行った。

また、経済産業省の委託により鳥取県が取り組んでいる「液晶ディスプレイ関連産業における製造中核人材育成事業」に連動した「高校生向け液晶講座」の教材作成を平成18年度の受託研究として行った（資料B-1-①-15）。この教材は、平成19年度以降に鳥取県主催で実施される講座で利用され、地域貢献に寄与する。さらに、平成19年度には、地域企業人の育成を目的として、メカトロニクス制御技術等を修得するカリキュラム作成と実践を行う「高専等活用中小企業人材育成事業」の計画を中国経済産業局へ提案している（資料B-1-①-16）。

一般市民へ広く開放している本校の施設に図書館と体育館、グラウンド等の体育施設がある。一般市民が図書館で受けることができるサービスは資料の閲覧及び借用等であり、利用可能時間も平日9～20時、土曜日10～15時と本校の学生・教職員と同様のものである（資料B-1-①-17）。本校図書館は、鳥取県立図書館、米子市立図書館と連携し、互いの蔵書を相互に貸出可能なシステムとしているため（資料B-1-①-18）、県東部に位置する遠方の県立図書館から県民が本校の蔵書を利用することが可能である。体育施設については、本校の教育活動に支障が出ない範囲で、市民団体等に開放している（資料B-1-①-19）。

研究生、聴講生及び科目等履修生制度は、学則第58～60条に定めており（資料B-1-①-20）、正規課程の学生以外の方にも本校の授業の受講機会を提供している。平成18年度からは、米子高専振興協力会（資料A-1-①-4～6, 8～9ページに前出）の会員企業の社員を対象とした「お試し講座」を開設した（資料B-1-①-21）。この講座では、本校専攻科で開講している講義を無料で受講し、専門技術等を学習する機会を提供、社員個々の技術及び基礎知識のレベル向上、連携強化を目的としたものである。

（分析結果とその根拠理由）

正規課程の学生以外に対する教育サービスとして、公開講座等の学外向け講座を幅広い年齢層を対象に多様なテーマで計画的に実施し、地域社会に生涯教育の場を提供している。また、図書館などの施設開放や研究生・聴講生などの制度設置により本校のリソースを地域社会に還元することで地域貢献を果たしている。

資料B-1-①-1 平成18年度『公開講座』一覧

地域貢献活動（公開講座・ジョイント講座・出前講座）について

実施日	時間	事業名	対象	実施場所	受講者数 /定員 (人)	満足度 調査 (%)	実施担当者 (◎実施責任者)	新聞 報道	備考
5/27 (土)	14:00~16:00	【第1回】 計算しない数楽	一般	米子市公会堂	31/40	95	G科：大庭		本校関係者(9名) を除く満足度調査
6/17 (土)	14:00~16:00	【第2回】 「ネイチャーライティングの世界」	一般	米子市公会堂	27/40	100	G科：中島		本校関係者(6名) を除く満足度調査
7/23 (日)	10:00~16:00	親子ふれあい科学教室	小学5・6年生 と保護者	本校	59 (30組) /50 (30組)	88	E科：◎桂田・宮田・津倉 C科：岡部・小川和・塩村		
7/25 (火)	10:00~15:00	エンジンヨイ科学館	中学1・2年生	本校	39/60	92.3	地域共同テクノセンター(G科) 田中 M科：松本、E科：池田 D科：中山、C科：田原 A科：上山、山田、G科：川邊		
7/26 (水) 7/27 (木)	13:00~16:30 13:00~16:30	中学生のためのやさしい電子制御回路教室	中学生	県立吉吉未来中心 県立県民文化会館	7/10 3/10	100 100	D科：河野・◎中山		
8/1 (火) 4 (金) 8 (火)	9:00~15:00 9:00~15:00 9:00~15:00	中学生のための化学研究体験講座	中学生	本校	17/20	71	C科：◎青木・小田・竹中・山本・坪井		8/14人 8/43人 8/89人 8/81人
8/3 (木) 7 (月) 10 (木)	18:00~20:00 18:00~20:00 18:00~20:00	初心者のためのパソコン教室 ～WindowsXPの基本操作～	一般	本校	3/20	-	図書館情報センター： 新田・◎夏田・岡部・小川寛		
8/5 (土)	9:30~15:00	ミニたたら製鉄によるものづくり教室 ～鉄を造ろう・曲げよう・削ろう～	小学4～6年生 と保護者	本校	26 (13組) /20 (10組)	100	M科：河添	○ NHK鳥取	
8/19 (土) 20 (日)	10:00~16:00 10:00~16:00	中学生のインターネット教室 ～自分のホームページを作ってみませんか～	中学生	本校	8/15	86	図書館情報センター： 新田・◎夏田・岡部・小川寛		
8/21 (月) 24 (木) 28 (日) 31 (木)	18:00~20:00 18:00~20:00 18:00~20:00 18:00~20:00	初心者のためのワープロ・表計算入門	一般	本校	9/20	100	図書館情報センター： 新田・◎夏田・岡部・小川寛		
10/28 (土)	14:00~16:00	【第3回】 「しひび寄る破壊」 ～金属疲労のおぼなし～	一般	米子市公会堂	14/40	100	M科：河添		本校関係者(5名) を除く満足度調査
11/25 (土)	14:00~16:00	【第4回】 「イメージングエネレーターの展開」 ～選形能力の強化手段として～	一般	米子市公会堂	10/40	100	A科：西川		本校関係者(5名) を除く満足度調査

※満足度調査 ※満足度調査 ※満足度アンケート(5つの選択肢を固定)を実施し、「大変満足した」「概ね満足した」の上位2つの回答を得た割合を示す。

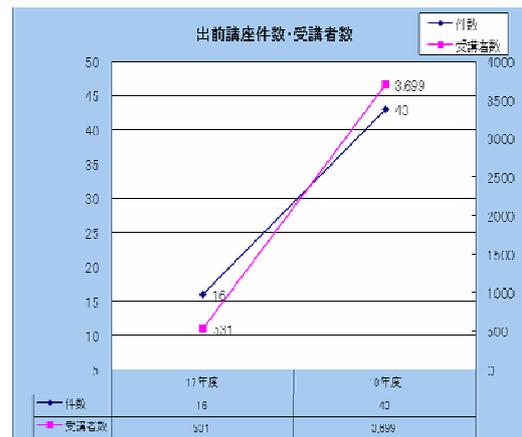
(出典 平成18年度地域共同テクノセンター活動記録)

資料B-1-①-2 文化セミナーポスター



(出典 図書館情報センター「文化セミナー」ポスター)

資料B-1-①-3 各種講座の開講数の推移



ジョイント講座件数・受講者数

	18年度
件数	9
受講者数	227

(出典 平成18年度地域共同テクノセンター活動報告)

資料B-1-①-4 平成18年度『出前講座』一覧 抜粋

地域共同テクノセンター関係

地域貢献活動（出前講座）について

実施日	時間	事業名	対象	申込者 (実施場所)	受講者数 (人)	満足度 調査 割合 (%)	実施担当者	新聞 報道	備考
5/3 (水)	14:00～15:30	<講演>「近世地域文化と河本家」 ～王朝文化の受容と所蔵古文書をめぐって～ 子供科学教室	河本家住宅老館者	河本家保存会 (河本家)	50	100	G科 原		
5/6 (土)	10:00～11:00～ 13:00～14:00～	夢みなとタワー	小学生	夢みなとタワー (夢みなとタワー)	180	93	D科: 中山 G科: 岡、田中	○	5/7日本海新聞
6/11 (日)	9:30～11:30	こども科学体験教室	小学5年生と保護者	大津津小学校 (大津津小学校)	28	95	C科: 小川 G科: 田中		
7/7 (金)	8:30～12:30	英語活動(小学校の英語教育)	小学5年生	河崎小学校 (河崎小学校)	50	100	G科: 中島		
7/22 (土)	9:30～12:00	こども科学体験教室	小学3年生とその兄弟、保護者	五十石小学校 (五十石小学校)	120	83	C科: 里村、小川		
7/23 (日)	9:00～12:00	ロボットを作ろう!	淀江小学校1～6年生 (低学年は保護者)	淀江公民館宇田川分館 (淀江公民館宇田川分館)	26	96	D科: 村側、中山		
7/31 (月)	10:00～12:00	こども科学体験教室	小学1～6年生	誠道公民館 (誠道公民館)	32	94	C科: 岡部 G科: 田中		
8/2 (水)	10:00～11:00	こども科学体験教室	小学1～3年生	伯仙小学校 (伯仙小学校)	34	80	C科: 藤井、小川		
8/8 (火)	14:00～15:30	こども科学体験教室	小学1～3年生	明道なかよし学級 (明道小学校)	22	86	C科: 岡部 G科: 越智		
8/9 (水)	10:00～11:30	こども科学体験教室	小学1～3年生	住吉なかよし学級 (住吉小学校)	31	81	C科: 里村 G科: 越智		
8/18 (金)	10:00～12:00	こども科学体験教室	小学1～6年生	米子市県地区子ども地域活動支援事業 行委員会(福公民館)	50	86	C科: 里村、岡部		
8/22 (火)	9:30～11:30	こども科学体験教室	小学1～6年生	住吉なかよし学級 (住吉小学校)	30	83	C科: 田原、里村		
8/24 (木)	10:00～12:00	こども科学体験教室	小学1～6年生	あいみ児童クラブ (余見農村遊学センター)	47	93	G科: 田中、川邊		
8/25 (金)	9:30～11:30	こども科学体験教室	小学生	虹の子保育園遊学クラブ (松江市虹の子保育園)	20	85	C科: 岡部 G科: 岡		
8/26 (土)	10:00～16:00	こども科学体験教室	小学1～6年生	夢みなとタワー (夢みなとタワー)	114	88	C科: 藤井、田原 G科: 川邊 G科: 藤井	○	8/26日本海新聞
8/27 (日)	10:00～16:00	こども科学体験教室	小学1～6年生	夢みなとタワー (夢みなとタワー)			G科: 岡、川邊		
9/3 (日)	9:30～11:30	こども科学体験教室	小学4年生	余見小学校 (余見小学校)	41	97	G科: 田中		
9/9 (土)	13:00～15:00	こども科学体験教室	小学1～6年生	倉吉市小鶴地区子どもいきいきプラン実行委員会 (倉吉市小鶴公民館)	37	95	C科: 田原 G科: 越智	○	9/21日本海新聞
9/17 (日)	10:00～12:10	こども科学体験教室	小学3年生と保護者	中山小学校 (中山小学校)	40	71	C科: 小川		
9/27 (水)	10:45～12:35	世の中で活躍しているロボットたち インターネットを使ったロボットの遠隔操作	気高中学校2、3年生 選択技術履修者	気高中学校 (気高中学校)	34	97	D科: 河野、中山 C科: 里村 G科: 田中	○	9/27日本海テレビ 9/28日本海新聞
10/1 (日)	9:00～11:00	こども科学体験教室	小学2年生親子	小鶴小学校(倉吉市立小鶴小学校)	72	100			
10/7 (土)	10:00～17:00	伝統建築フェアin倉吉	一般市民	鳥取県 (倉吉市 研農町公園)	150	-	A科: 西川		
10/8 (日)	10:00～17:00	伝統建築フェアin倉吉	一般市民	鳥取県 (倉吉市 研農町公園)	150	-	A科: 松本		
10/10 (火)	13:30～15:30	あなたの骨は丈夫? 一骨密度診断と転倒防止について	高齢者	米子市地域包括支援センター (福米東公民館)	20	100	G科: 西		
10/14 (土)	10:00～17:00	伝統建築フェアin倉吉	一般市民	鳥取県 (倉吉市 研農町公園)	150	-	A科: 稲田		
10/15 (日)	10:00～17:00	伝統建築フェアin倉吉	一般市民	鳥取県 (倉吉市 研農町公園)	150	-	A科: 西川		
10/22 (日)	9:00～12:00	こども科学体験教室	小学4年生と保護者	安来市立高田小学校4年生PTA (高田小学校)	57	93	C科: 田原 G科: 田中		
10/28 (土)	10:00～12:00	科学体験教室	地域住民	境港市誠道公民館 (境港市誠道公民館)	～500	-	C科: 岡部 G科: 川邊		
11/5 (日)	14:00～15:30	「源氏物語」を読んでもみませんか	河本家住宅老館者	河本家保存会 (河本家)	25	100	G科: 原	○	10/29読売新聞 11/4日本海新聞

※満足度調査 ※満足度調査(5つの選択肢を設定)を実施し、「大変満足した」「概ね満足した」の上位2つの回答を得た割合を示す。

(出典 平成18年度地域共同テクノセンター活動報告)

資料B-1-①-7

平成18年度『ジョイント講座』一覧

実施日	時間	事業名	対象	実施場所	受講者数/定員(人)	満足度調査(%)	実施担当者	新聞報道	備考
4/29(土)	20:00~21:30	天体観測会「土星を早よう」 【連携：米子市児童文化センター】	小学5年生~中学3年生と保護者	米子市児童文化センター	15組30名/15組30名	92	G科：竹内		第1回
5/6(土)	19:30~21:00	天体観測会「月のクレーターの写真を探ろう!!」 【連携：米子市児童文化センター】	小・中学生と保護者	米子市児童文化センター	5組16名/15組30名	100	G科：竹内		第2回
6/3(土)	20:00~21:30	天体観測会「木星の写真を探ろう」 【連携：米子市児童文化センター】	小・中学生と保護者	米子市児童文化センター	14/18	71	G科：竹内		第3回
8/6(日)	16:00~20:30	天体観測会 【連携：とっとり花回廊】	小学生と保護者	とっとり花回廊	14組29名/30組60名	88	G科：竹内		
8/20(日)	9:30~10:30	天体観測会「生きた太陽の姿を見よう!!」 【連携：米子市児童文化センター】	小・中学生と保護者	米子市児童文化センター	13/20	85	G科：竹内		第4回
10/7(土)	19:00~20:00	「中秋節の習いごとをみよう会」 【連携：中国庭園燕趙園】	一般入園者	中国庭園燕趙園	0/定員数がない	-	G科：竹内	○	雨天のため、入園者が0名であった。関係者に対し、実施された。 10/14日本海新聞
11/3(金)	18:00~19:30	天体観測会「月のクレーターの写真を探ろう」 【連携：米子市児童文化センター】	小・中学生と保護者	米子市児童文化センター	30/23	87.5	G科：竹内		第5回
3/3(土)	13:30~16:00	「世の中で活躍しているロボットたち」 【連携：米子市児童文化センター】	小学生	米子市児童文化センター	75/75	95	D科：中山	○	3/3NHK鳥取地 3/7日本海新聞
3/24(土)	18:30~20:30	春休み天体観測会「月・金星・土星をみよう!!」 【連携：米子市児童文化センター】	小・中学生と保護者	米子市児童文化センター	20/30	80	G科：竹内		第6回

(出典 平成18年度地域共同テクノセンター
活動報告)

資料B-1-①-8

「天体観測会」新聞記事

日本海新聞

2006年(平成18年)10月14日 土曜日

湯梨浜町引地の燕趙園で、中秋節に合わせた「月をみよう会」が開かれた。あいにくの雨模様で同園の華夏堂での講演会となったが、参加者は月の不思議について学んだ。

中国では中秋節に月餅(げっぺい)の菓子を食べる習慣があった。

「月をみよう会」が開かれた。あいにくの雨模様で同園の華夏堂での講演会となったが、参加者は月の不思議について学んだ。

中国では中秋節に月餅(げっぺい)の菓子を食べる習慣があった。

燕趙園で月見会

月の成り立ち
不思議を学ぶ



竹内助教の月の話に
聴き入る参加者たち

.....

同園の中国庭園でも
中秋の月見を楽しんでも
らおうと企画した。

当日の夜は強い風雨で
肝心の月が見えず、予定
を変更して庭園内の華夏
堂に会場を移し、米子高
専の竹内彰助教による
月の成り立ちや、月を
見るのに役立つ道具の
紹介などを行った。

(出典 日本海新聞 平成18年10月14日付)

資料B-1-①-9 「財団法人米子市教育文化財団との連携協定」連携協定書と新聞記事
**米子工業高等専門学校と米子市教育文化事業団との
 包括連携協力協定書**

米子工業高等専門学校と財団法人米子市教育文化事業団は、次のとおり包括連携協力協定を締結する。

(目的)

第1条 本協定は包括的な連携のもと、相互に協力し、地域社会の教育文化の振興・発展に寄与することを目的とする。

(連携・協力内容)

第2条 両者は、前条の目的を達成するため、次の分野について、連携・協力するものとする。

- (1) 地域の特性を生かした特色ある文化の創造と活性化に関すること。
- (2) 自然を愛し科学や芸術を尊び、健康かつ明朗でたくましい児童の育成に関すること。
- (3) その他前条の目的を達成するため必要な分野に関すること。

(有効期間)

第3条 本協定の有効期間は、締結日から1年間とする。ただし、本協定による有効期間満了の日の1月前までに、両者から何らかの申し出がないときは、更に1年間更新するものとし、その後も同様とする。

(協議)

第4条 本協定に定めるもののほか、連携・協力の具体的事項及びその他必要な事項については、両者が協議して別に定めるものとする。

本協定締結の証として本書を2通作成し、署名押印のうえおのおの1通を保有するものとする。

平成19年 1月18日

米子市彦名町4448番地
 独立行政法人国立高等専門学校機構
 米子工業高等専門学校長
 (署名) 水島和夫

米子市末広町293番地
 財団法人米子市教育文化事業団
 理事長 (署名) 小林道正

(出典 総務課企画協力係資料)



(出典 山陰中央新報 2007年1月19日付)

資料B-1-①-10 公開講座等実施計画書の例

平成18年度 公開講座等実施計画書

イベント名	中学生のインターネット教室				
開催会場	校内（情報教育施設の端末室） その他（ ）				
開催期間	平成18年8月19日（土）～平成17年8月20日（日）（2日間）				
時間帯・時間数	10時00分～16時00分 10時間				
受講対象者	中学生				
募集人数	15人				
傷害保険	必要 不要				
趣旨及び目的	中学生に、楽しみながらインターネットの仕組みやネットワーク利用の方法およびルールとマナーを学んでもらいます。さらに、自分だけのホームページをつくり、画像・動画の作製・編集やCGIを用いたコンテンツ作製についてわかりやすく解説・実習を行うことにより、パソコンおよびインターネットの正しい利用方法を学んでもらうことを目的としています。				
実施主体	米子工業高等専門学校 図書館情報センター （共催： ）				
要求額内訳	区 分	員 数	単価（円）	金額（円）	備 考
	謝 金				
	旅 費				
	物品費				
	テキスト	25	2,500	62,500	市販書籍
	フロッピーディスク	20	100	2,000	
	修了証書	25	200	5,000	
	合 計			69,500	
講師予定者 職名・氏名・時間数	職 名	氏 名	時間数	備 考	
	機械工学科 助教授	矢壁正樹	10		
	電気情報工学科助教授	新田陽一	10		
	物質工学科 助手	岡部勇二	10		
	電気情報工学科助教授	小川覚美	10		
	技術専門職員	遠藤 収	10		
そ の 他	◆継続して実施している場合の前年度との変更点（企画、実施形態等） ホームページ作製を体験し、インターネットの正しい使い方について講義を行う。また、土日曜日の方が参加しやすいとの声があったので、これに応じた。				
	◆その他				

(出典 総務課企画協力係資料)

資料B-1-①-11 イベントガイド表紙

独立行政法人国立高等専門学校機構 米子工業高等専門学校 発行：2007.6

イベントガイド

— 平成 19 年度 — 2007.5 ~ 2007.11

Yonago National College of Technology

公開講座へのお誘い

米子工業高等専門学校は、中学校卒業者を対象にして5年一貫の教育を行うことにより日本の工業を支える技術者を養成することを基本的な目標としていますが、地域社会との連携を深めるために地域の企業を対象にした技術相談や地域の皆様方の生涯学習に資する「公開講座」を実施しています。

本年度の「公開講座」は、一般市民の方を対象にしたパソコン講座をはじめ、近年のいわゆる「理科ばなれ」に対応するため、小・中学生を対象とした科学教室などを用意しました。また、鳥取県東・中部地区の中学生の皆さんを対象に「県立倉吉未来中心」及び「県立県民文化会館」で開催する出張イベントも企画しております。

内容は、いずれも予備知識を必要としない、わかりやすいものとしておりますので、地域のたくさんの皆様方が参加していただけますようご案内申し上げます。

★ イベントカレンダー ★

月	日	イ ベ ン ト	対 象	場 所
5	26	【文化セミナー】「鳥取県におけるバス交通の現状と課題」	一 般	米子市公会堂
6	23	【文化セミナー】「いきいき健康づくり」 ～見直そう生活習慣、予防しよう生活習慣病～	一 般	米子市公会堂
6	24	【公開講座】建築技術者のための建築構造再入門講座 (2級建築士学科(構造)試験対策講座)	建築関係実務者	米子高専
7	22	【公開講座】親子ふれあい科学教室	小学高学年生と保護者	米子高専
		【公開講座】エンジョイ科学館	中学1・2年生	米子高専
7	24	【公開講座】中学生のためのやさしい電子制御回路教室	中学生	県立県民文化会館
7	25	【公開講座】中学生のためのやさしい電子制御回路教室	中学生	県立倉吉未来中心
8		オープンキャンパス(学校見学会)	中学3年生	米子高専
8	2~	【公開講座】初心者のためのパソコン教室(8/27まで)	一 般	米子高専
8	4	【公開講座】リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう	小学3・4年生	米子高専
8	11, 12	【公開講座】レゴ(R)でレスキューロボットを作ろう	中学生	米子高専
8	22	【公開講座】金属の不思議(金属でキーホルダーを作ろう)	小学5・6年生	米子高専
8	24, 25	【公開講座】中学生のためのプログラミング入門 「米子高専 Robocode Cup 開催!!」	中学生	米子高専
9	8	【公開講座】木のあかりづくり体験	中学生	米子高専
10	27	【文化セミナー】「私たちの暮らしと酵素」	一 般	米子市公会堂
11	24	【文化セミナー】「おもしろ静電気のはなし」	一 般	米子市公会堂

★ 公開講座 ★ ～ とっとり県民レジャ連携講座 ～記載内容については変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

大人向けイベントを紹介します (協賛：財団法人 鳥取県産業振興機構)

■建築技術者のための建築構造再入門講座

建築物の耐震偽装が明らかとなり、社会に大きな問題を投げかけています。そこで、地元で建築実務に携わる方を対象に、建築構造設計に関するスキルアップならびに、2級建築士試験(構造)の受験対策を目的とした建築構造再入門講座を実施します。

なお、本講座開設の趣旨は、職業上の知識を身につける学習機会の提供です。

日 時 / 平成19年6月24日(日) 9:00 ~ 17:00

場 所 / 米子高専 専攻科棟 オープンシアター

対 象 / 一般

定 員 / 40人

受 講 料 / 6,400円

受付期間 / 平成19年5月24日 ~ 定員となり次第締切ります。申込方法は最後のページをご覧ください。



(出典 総務課企画協力係発行 平成19年度「イベントガイド」)

資料B-1-①-12 財団法人マツダ財団助成 報告書

事業結果要約報告書		受付番号 No. 2006KJ-009		
— 科学技術振興関係 —				
財団法人 マツダ財団 御中		2006年 8月 日		
所属機関名	米子工業高等専門学校			
申請代表者 役職	電子制御工学科			
フリガナ 氏名	ナカヤマ シゲキ 中山 繁生			
	印 (TEL; 0859-24-5033)			
マツダ財団から受けた <u>助成金</u> <u>100千円</u> による事業結果について、 次のとおり報告します。				
助成事業名	中学生のためのやさしい電子制御回路教室 (事業期間; 2006年 7月 26日 ~ 2006年 7月 27日)			
	計 画	実 施 結 果		
事 業 内 容	日時:平成18年7月26日(水)13:00~16:30 場所:鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム7 日時:平成18年7月27日(木)13:00~16:30 場所:鳥取県立県民文化会館 会議室2 対象:中学生(各10名募集) 内容:まず簡単な電気回路についての説明をおこなう。 次にトランジスタやコンデンサなど主要部品に関する特徴と取り扱い方法について説明し、更に電子回路組立てに用いるブレッドボードについても説明をおこなう。	左記計画通りに開催。参加人数は両会場合計で10名参加 本校教員延べ4名が講師として参加した。 本校学生延べ4名がサポートとして参加した。 [参加者; 10人, 内(小中高の先生; 人)(生徒; 10人)] [講演; 件] [発表; 件] [シンポジウム; 件]		
収 入	マツダ財団への助成申請額	千円 100	マツダ財団からの助成額	千円 100
	その他の資金 受講料 @2,000円×20人	千円 40	その他の資金 受講料 @1,950円×10人	千円 20
	合 計	千円 140	合 計	千円 120
支 出	○消耗費 電気・電子部品等の消耗品費	千円 60	○消耗費 電気・電子部品, ガラス器具・試薬等の消耗品費	千円 69
	○通信・運搬費 中学校への案内, 応募者への通知等郵送費	10	○通信・運搬費 小学校への案内, 応募者への通知等郵送費	14
	○印刷・複写費 テキスト, ポスター, 報告書等作成費	10	○印刷・複写費 テキスト, ポスター, 報告書等作成費	10
	○賃借料 2会場賃借料	20	○賃借料 2会場賃借料	17
	○旅費・交通費 講師4名分	20	○旅費・交通費 講師2名分	10
	合 計	千円 140	合 計	千円 120

資料B-1-①-13 理工学振興会助成 報告書

平成17年度教育研究助成「研究成果の報告書」

研究題目：熱機関・冷凍装置を実感するサイクル模型教材の製作

米子工業高等専門学校 機械工学科 森田 慎一

図1は、本教育研究で製作したエンジン（熱機関）である。エンジンは、4ピストン4シリンダの α 型スターリングエンジンであり、往復運動から回転運動への変換はロス機構と呼ばれる方式を採用した。シリンダ・ピストン数を4組としたことは、小さいが始動させると意外に迫力があり、強く学生の興味を惹かせる結果となった。また、ロス機構を採用したことで高速回転での実演ができたことも、学生へのインパクトを強めたと思われる。

図2は、本研究助成により製作したクーラー（冷凍機）教材である。クーラーは、冷却部に設置された熱電対温度計による温度データをデジタル温度計によって表示できるように配慮した。クーラーの実演は、数分間で10Kを超える温度低下を実現できたため、デジタル温度表示を見せることでスピード感ある実演を可能とできた。デモンストレーションの最後には、冷却部に触れさせて実際に冷たくなっていることを感じさせた。このことは、さらに強い印象を残す結果につながる事ができたと思われる。

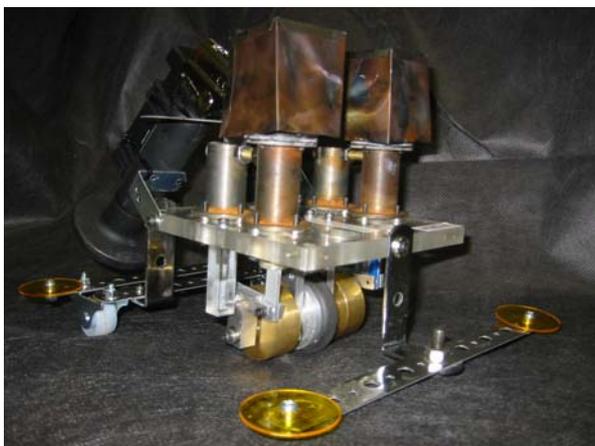


図1 本教育研究にて製作した
エンジン（熱機関）



図2 本教育研究にて製作した
クーラー（冷凍機）

（出典 総務課企画協力係資料）

資料B-1-①-14 オープンキャンパス 募集要項

オープンキャンパス 開催要項

米子工業高等専門学校

1. 趣 旨 本校の概要説明、施設・設備の見学並びに各学科の実験・実習の体験を通じて、本校を理解していただくことを目的とします。
2. 対 象 中学校3年生・保護者・中学校の教職員
3. 期 日 平成18年 7月28日(金)
4. 日 程

	午 前 の 部	午 後 の 部	備 考
受 付	9:30～10:00	12:30～13:00	玄関
校長挨拶・学校概要説明	10:00～10:20	13:00～13:20	合同講義室
学 科 体 験 コ ー ナ ー	10:30～12:30	13:30～15:30	内容及び場所は別紙のとおり
学 寮 見 学	—	15:50～16:10	希望者

* 学科体験コーナーは、学科を変えて午前の部・午後の部に参加できます。
一学科のみ希望の場合、米子・境港市内の方は午前の部、その他の方は午後の部に参加してください。

5. 申 込
 - (1) 締 切 平成18年 7月18日(火)
 - (2) 方 法 別紙申込書に必要事項を記入し、中学校で取りまとめのうえ、FAXにて申し込んでください。
 - (3) 申込先 〒683-8502 米子市彦名町4448
米子工業高等専門学校 学生課教務係
FAX 0859-24-5029
TEL 0859-24-5022
6. 無料バス 次のとおり無料バスを運行しますので、ご利用ください。

往 路	米子駅前発	米子高専着	復 路	米子高専発	米子駅前着
	8:50 ⇒	9:10		12:50 ⇒	13:10
	9:25 ⇒	9:45		15:50 ⇒	16:10
	12:00 ⇒	12:20		16:20 ⇒	16:40
	12:30 ⇒	12:50			

(米子駅前バス乗り場は、別紙「米子駅前バスのりば」のとおり)
7. そ の 他
 - (1) 当日は、学生食堂を営業しておりますが、混雑が予想されますので、なるべく弁当を持参してください。
 - (2) 上履きは、持参する必要がありません。
 - (3) 駐車場を用意していますが、駐車台数に限りがありますので、乗り合わせてお越しくさるようお願いします。
 - (4) 参加申込書により参加を申込みれた生徒、保護者及び教職員の方には、本校の方で傷害保険に加入することになっています。

(出典 学生課教務係資料)

資料B-1-①-14 オープンキャンパス 募集要項

別紙1

オープンキャンパス 開催要項

米子工業高等専門学校

1. 趣 旨 本校の概要説明, 施設・設備の見学並びに各学科の実験・実習の体験を通じて, 本校を理解していただくことを目的とします。
2. 対 象 中学校3年生・保護者・中学校の教職員
3. 期 日 平成18年11月11日(土)
4. 日 程

	全日参加者	午後のみ参加者	備 考
受付	10:00~10:30	12:00~12:30	玄関で受付
校長挨拶・学校概要説明	10:30~10:50	12:30~12:50	合同講義室
一般科目授業体験	11:00~11:40		内容及び場所は別紙のとおり
昼 食	11:50~12:50		図書館2F 視聴覚室
学科説明・専門科目	13:00~13:50		合同講義室前に集合
キャンパス見学	14:00~15:00		施設・クラブ活動などを見学
キャンパス自由見学	15:00~16:00		希望者のみ
寮 見 学			

5. 申 込
 - (1) 締 切 **平成18年 10月31日(火)**
 - (2) 方 法 別紙申込書に必要事項を記入し, 中学校で取りまとめのうえ, FAXにて申し込んでください。
 - (3) 申込先 〒683-8502 米子市彦名町4448
米子工業高等専門学校 学生課教務係
FAX 0859-24-5029
TEL 0859-24-5022
6. 無料バス 次のとおり無料バスを運行しますので, ご利用ください。

往 路	米子駅前発	米子高專着	復 路	米子高專発	米子駅前着
	9:15 ⇒	9:35		15:10 ⇒	15:30
	9:45 ⇒	10:05		15:15 ⇒	15:35
	11:35 ⇒	11:55		16:10 ⇒	16:30
	12:00 ⇒	12:20			

 (米子駅前バス乗り場は, 別紙「米子駅前バスのりば」のとおり)
7. その他
 - (1) 当日は, 学生食堂を営業しておりますが, 混雑が予想されますので, なるべく弁当を持参してください。
 - (2) 上履きは, 持参する必要がありません。
 - (3) 駐車場を用意していますが, 駐車台数に限りがありますので, 乗り合わせてお越しくくださるようお願いいたします。
 - (4) 参加申込書により参加を申込みました生徒, 保護者及び教職員の方には, 本校の方で傷害保険に加入することになっています。

(出典 学生課教務係資料)

資料B-1-①-15 「高校生向けの液晶講座」受託研究申請書

受託研究申請書

平成19年2月8日

米子工業高等専門学校長 様

住 所 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地

氏 名 鳥取県知事 片山 善博



独立行政法人国立高等専門学校機構受託研究実施規則を遵守のうえ、下記のとおり受託研究を申請します。

記

1	研 究 課 題	液晶ディスプレイ動作原理の学習用教材の開発
2	研 究 内 容	鳥取県において進めている液晶関連産業に従事する者に対する人材育成事業のうち、高校生等を対象とした教材開発について、液晶ディスプレイの動作原理についての学習用教材について、米子工業高等専門学校が持つノウハウを活用した、研究開発を委託するものである。 (詳細は別添仕様書のとおり)
3	実 施 場 所	米子工業高等専門学校
4	研 究 期 間	経費納付日の翌日から平成19年3月30日まで
5	研究に要する経費	3,500,000円(消費税額及び地方消費税額を含む)
	(うち直接経費)	3,045,000円
	(うち間接経費)	455,000円
6	研 究 担 当 者	米子工業高等専門学校 電気情報工学科・助教授 小川 覚美 米子工業高等専門学校 一般科目・助教授 田中 晋
7	提 供 物 品	なし
8	そ の 他	なし

(出典 総務課企画協力係資料)

資料B-1-①-16 「高専等活用中小企業人材育成事業」応募提案書

平成19年 4月 6日

中国経済産業局長 殿

管 理 法 人

機 関 名 称：財団法人鳥取県産業振興機構

代 表 者 役 職：理事長

代 表 者 氏 名：金田 昭



担 当 者 氏 名：加藤賢治郎・新事業創出部長

連 絡 先：0857-52-6724

平成19年度中小企業ものづくり人材育成事業（高専等活用中小企業人材育成事業）応募提案書

記

1. 提案事業名

鳥取県における中小企業の産業力強化のための若手技術者育成事業

2. 事業費総額 7,958,527円

3. 事業実施期間

開始予定日 平成19年6月 1日

完了予定日 平成20年3月31日

(出典 総務課企画協力係資料)

資料B-1-①-17 図書館利用案内 抜粋

米子高専 図書館情報センター
Y. N. C. T. Library & Information Technology Center

ホーム 利用案内 蔵書検索 論文検索等 WEBサービス イベント 発行物 リンク

図書館 利用案内(一般利用者向)

図書館の一般公開について

地域の皆さんが、生涯を通して行われる学習・調査・研究活動などで必要となる資料等を米子高専図書館にて提供する目的で、本校図書館を本校学生・教職員以外の一般の方々にも開放しています。ただし、一般公開は、本校の教育・研究に支障のない範囲に限られますので、ご了承ください。

閲覧室内の配架については[こちら\(pdf書類 19.7KB\)](#)をご覧ください。

入館手続き

A. 当該年度に初めて、来館された場合

1. 閲覧室内のカウンターにて「利用許可願」に必要事項を記入ください。
2. 「利用許可願」に本人を証明する身分証明書(運転免許証等)を添えて、カウンターへ提出ください。
3. 「図書館利用許可証」を交付します。
*年度が変わると、再度手続きが必要になります。

B. 当該年度、2回目以降の来館の場合

1. 閲覧室へ入室される際、「図書館利用許可証」をカウンター上の箱に入れてください。
2. 入館者カウンターのボタンを一回だけ押してください。(入館者数の計測をさせていただいています。)
3. 退館時には、ご自分の「図書館利用許可証」をお持ち帰りください。

閲覧

閲覧室内では、図書・雑誌・新聞等を自由に閲覧することができます。

- 皆で利用するものですから汚損や破損をしないように注意してください。
- 万一汚損・破損してしまった場合は、カウンターに申し出てください。
- 閲覧室で利用した資料は、もとの場所に戻してください。

貸出

本校の教育・研究・学習活動に支障のない範囲で貸出をおこないます。

貸出手続き

1. カウンターにて「資料借用願」へ必要事項を記入してください。
2. 貸出を希望する資料等に「図書館利用許可証」を添えて申し込んでください。

- 貸出手続きをしないで資料の持ち出しはできません。
- 「禁帯出」のシールが貼ってある資料は、貸出できません。
- 貸出を要した本や雑誌を汚損・紛失した場合は、同じものを弁償していただきます。
- 貸出を要した本や雑誌は他の人に貸さないでください。
(他人に貸した場合でも、破損等の弁済責務は、図書館から借りた方にあることとします。)

(出典 米子高専図書館情報センターホームページ)

資料B-1-①-18 県立図書館との連携協定書

米子工業高等専門学校図書館及び鳥取県立図書館の図書館利用の相互協力に関する協定書

高専図書館と県立図書館は、この協定書を2通作成し、それぞれ記名押印のうえ、各自その1通を保有する。

平成16年2月1日

米子市彦名町4448

米子工業高等専門学校
校長 杉浦 哲郎



鳥取市尚徳町101番地

鳥取県立図書館
館長 齋藤 明彦

齋藤 明彦



- 1 米子工業高等専門学校図書館(以下「高専図書館」という。)と鳥取県立図書館(以下「県立図書館」という。)は、両館の利用者等の学習、教育、研究活動に資することを目的に、図書館利用の相互協力(以下「相互協力」という。)に関し協定書を締結する。
- 2 相互協力に関する事項は次のとおりとする。
 - (1) 図書資料の相互貸借に関すること。
 - (2) 図書資料の文献複写に関すること。
 - (3) レファレンス(文献の照会・提供、参考調査等)に関すること。
 - (4) 図書館利用者講座に関すること。
 - (5) 横断検索システムに関すること。
- 3 両館は、相互協力を推進するに当たり、次の事項を遵守するものとする。
 - (1) 両館の相互協力は、法令、条例及び規則等に抵触しない範囲内で行う。
 - (2) 両館の相互協力は、それぞれの業務に支障のない範囲内で行う。
 - (3) 両館の相互協力を行う日及び時間は、それぞれの開館日及び閉館時間内とする。
- 4 相互協力を行うための事務取扱については、「高専図書館及び県立図書館相互協力取扱要領」を両館協議のうえ定め、これを所持するものとする。
- 5 この協定書に定めのない事項について、これを定める必要が生じたときは、高専図書館と県立図書館は協議のうえ、定めるものとする。

(出典 総務課企画協力係資料)

資料B-1-①-19 不動産管理規則 抜粋

○米子工業高等専門学校不動産管理規則

平成16年4月1日

(趣旨)

第1条 この規則は、独立行政法人国立高等専門学校機構不動産管理規則（以下「機構不動産管理規則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(不動産の使用)

第11条 不動産管理役は、本校所属の不動産を、その用途又は目的を妨げない場合で、本校の運営上も支障がなく、教育研究その他公共の目的のため必要があると認めるときは、機構不動産管理規則第20条及び第21条の規定に基づき、その使用又は収益を許可することができる。ただし、次の各号の一に該当するものについては、これを許可することができない。

- 一 宗教活動を目的とするもの
- 二 営利を目的とするもの（教職員及び学生の福利厚生のために行う場合及び産学官連携に基づく事業等を行う場合を除く。）
- 三 政治問題に関係のあるもので、学校又は本校教職員の政治的中立性について疑いを抱かしめる恐れのある事項について、討議・決定を行うことを目的とするもの
- 四 違法・不当な内容の討議・決定を行うことを目的とするもの

(出典 米子工業高等専門学校規則集データベース)

資料B-1-①-20 研究生，聴講生及び科目等履修生制度について学則より抜粋

米子工業高等専門学校学則

第1章 本校の目的

(目的)

第1条 米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）は、教育基本法（昭和22年法律第25号）の精神にのっとり、学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づいて、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

第10章 研究生，聴講生及び科目等履修生

(研究生)

第58条 本校において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、校長は、教育研究に支障がない場合に限り、選考の上研究生として入学を許可することができる。

- 2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

(聴講生)

第59条 本校において、特定の授業科目について聴講することを志願する者があるときは、校長は、教育研究に支障がない場合に限り、選考の上聴講生として入学を許可することができる。

- 2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第60条 本校所定の授業科目のうち、一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、校長は、教育研究に支障がないと認められる場合に限り、選考の上科目等履修生として入学を許可することができる。

- 2 校長は、前項の規定により入学した者に対して単位の履修を認定することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、別に定める。

(出典 米子工業高等専門学校規則集データベース)

資料B－1－①－21 お試し講座実施要項

専攻科における試聴講生実施要項

1 趣旨

この要項は、本校の専攻科における試聴講生に関し、必要な事項を定めるものとする。2 試聴講生資格
試聴講生として聴講できる者は、次のいずれにも該当するものとする。

- 1) 米子工業高等専門学校振興協会会員企業等に勤務する者
- 2) 学歴は問わないが、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 聴講期間

聴講の期間については、前期は概ね4月から7月まで、後期は、概ね10月から1月までとする。

4 聴講志願の手続き

試聴講生として志願する者は、次に掲げる書類を聴講しようとする日の2週間前までに校長に願出なければならぬ。

- 1) 試聴講生願書（別紙様式1）
- 2) 現に職を有しているものは、勤務先代表者の承諾書（別紙様式2）又は依頼書

5 聴講の許可

- 1) 試聴講生については、出願書類等で選考の上、校長が聴講を許可するものとする。
- 2) 聴講を許可された者は、聴講開始までに誓約書（別紙様式3）を提出しなければならない。
- 3) 試聴講生が聴講期間中やむを得ない理由で聴講を中断又は中止する場合は、校長の許可を受けなければならない。

6 聴講科目

試聴講生が聴講できる授業科目は常勤教員による講義とする。

7 聴講の回数制限

聴講できる回数は聴講期間中において5回までとする。

8 聴講の人数制限

校長は、一科目において必要がある場合は試聴講生の人数を制限することができるものとする。

9 聴講料

試聴講生の聴講料は無料とする。

10 聴講に必要な教材

聴講に必要な教材は、本校で準備するものとする。

11 他の規則等の準用

この要項に定めるもののほか試聴講生の修学時における必要な事項は、学則及び学諸規則を準用するものとする。

（出典 学生課資料）

観点B-1-②： サービス享受者数やその満足度等から判断して、活動の成果が上がっているか。また、改善のためのシステムがあり、機能しているか。

(観点に係る状況)

公開講座等の学外向け講座を実施した際には、受講者の満足度などを調査するアンケートを行っている(資料B-1-②-1)。アンケート結果は、講座終了後に講座担当者が企画協力室へ報告書とともに提出することとしている(資料B-1-②-2)。講座内容等は、アンケート結果などを元に学科長会議及び評議員会において検討を行うと同時に、その結果を各学科等にフィードバックし、次年度の講座内容等の見直しを図っている(資料B-1-②-3)。

平成18年度の各講座における満足度調査の結果と参加者数を資料B-1-①-1(40ページに前出)に示す(別添資料B-1-②-1)。いずれの講座も比較的高い満足度を達成しているが、特に出前講座の満足度は極めて高い。出前講座・ジョイント講座の実施件数が前年よりも大幅に増した結果、総受講者数も増加し、より多数の市民へ学習機会を与えて地域貢献している。定員を設けている公開講座とジョイント講座の参加者数を見ると、児童と保護者で参加する形式の講座は人気が高く、受講者数が定員以上になっているものもある。特に親子参加型公開講座「ミニたたら製鉄によるものづくり教室」は財団法人素材センターのものづくりコラボレーション表彰「奨励賞」を受賞し、高い評価を得ている(資料B-1-②-4)。一方、一般市民、中学生を対象とした講座では、受講者数が定員を割り込む場合が見られる。開講日と中学校の学校行事等との兼ね合いなども一因であるが、講座担当者や担当する学科による内容見直しにより、平成19年度の公開講座ではより魅力的かつ需要のあるものへ講座内容を一部変更した(資料B-1-②-5)。また、イベントガイド(資料B-1-①-11, 47ページに前出)を前年度よりも2カ月以上早い2月末に作成し、学外への広報開始期間を早めるなどの改善策が図られた。これら各講座を実施した教員には、校長裁量経費に公開講座収益金を加えた「公開講座等助成金」を実績に応じて配分し、インセンティブを付与することで、地域貢献活動の活性化を図っている(資料B-1-②-6)。

平成18年度における本校図書館の一般市民による利用状況は、資料B-1-②-7のとおりであり、一定数の利用がある。一般市民によるグラウンド等の体育施設利用については、第二体育館やテニスコートの利用が多い(資料B-1-②-8)。特に6面ある砂入り人工芝テニスコートは近隣に同様の施設が少ないため、比較的高い頻度で高校生の公式試合等を本校で行い、地域に貢献している。

研究生、聴講生及び科目等履修生制度については、平成16～18年度の期間、一定数の利用があり、成果を上げている(資料B-1-②-9)。

(分析結果とその根拠理由)

出前講座の件数増加によって総参加者数が増加し、多数の学習機会を提供することができている。各種講座のアンケート結果では、受講者の満足度が高く、成果を上げている。また、アンケート結果などを元に科会等で議論して次年度以降の内容を変更するなど、改善を図るシステムが機能している。また、一般市民による図書館、体育施設等の利用や研究生制度等の利用も一定数あり、地域貢献における成果を上げている。

資料B-1-②-1 公開講座等アンケート回答用紙の例

こども科学体験教室（米子高専出前講座）アンケート

1. 時間の長さは？

A：短かった B：少し短かった C：ちょうど良い D：少し長かった E：長かった

2. この教室にまんぞくしましたか？

A：とてもまんぞく B：まあまあまんぞく C：どちらでもない D：あまりまんぞくしなかった E：まんぞくしなかった

3. どの実験がおもしろかったですか？（いくつえらんでも良い）

A：液体ちっそであそぼう B：光のふしぎ
C：その他（ ）

4. 今後、どんなイベントに参加してみたいですか？（いくつえらんでも良い）

A：科学実験かがくじっけん B：ロボットのお話でんしこうさく C：電子工作でんしこうさく D：パソコン教室きょうしつ
E：天体観測てんたいかんそく F：建築模型づくりけんちくもけい G：その他（ ）

5. その他、感想がありましたら、自由に書いてください。

（出典 総務課企画協力係資料）

資料B-1-②-2 報告書とアンケート結果集計例

出前講座実施報告書

報告日：平成 19年 3月 5日

学 校 長 殿

（担当講師）

学.....科 一般科目.....

氏.....名 田中 晋・越智 信彰.....

次のとおり、米子工業高等専門学校出前講座を実施しましたので報告します。

出前講座のテーマ	こども科学体験教室
実施責任者 （申込者）	住吉小学校4年1組学級PTA 速水 淑子
実施日時	平成 19年 3月 3日（土） 9時30分～11時20分まで
対象・人数	（対象）児童・小学校4年生31名 （+4年生以外の学年の小学生9名・保護者約18名） （人数）40人
実施場所	住吉小学校 家庭科室（米子市）
出前講座 実施内容	9時30分～11時20分 「液体ちっそであそぼう」 演示実験後、花を凍ら素実験、長風船内の空気を冷やす実験、 凍ったマシュマロを食べる実験を行った。 「見える？見えない？光の不思議」 黒い壁を通り抜ける実験、リモコンの光を見る実験など 参加者に行ったアンケートより 満足度 100%（回答数 35人） ※ テキスト・資料・アンケート集計結果等を添付してください。
その他	

資料B-1-②-2 報告書とアンケート結果集計例

化学体験教室（米子高専出前講座）アンケート @住吉小4年+α

参加者： 小学校4年生1組31名 +他学年9名+保護者約18名 2007. 3. 3

アンケート回収数： 35

参加者の一部にアンケートを実施

1. 時間の長さは？

A: 短かった	B: 少し短かった	C: ちょうど良い	D: 少し長かった	E: 長かった	無回答	回答者数
0人	4人	28人	2人	1人	0人	35人
0%	11%	80%	6%	3%		

2. どの実験がおもしろかったですか？（いくつえらんでも良いです）

A: 液体窒素	B: 光の不思議	C: その他	無回答	回答者数
35人	18人	0人	0人	35人
100%	51%	0%		

3. この教室にまんぞくしましたか？

A: とてもまんぞく	B: まあまあまんぞく	C: ふつう	D: あまりまんぞくしなかった	E: まんぞくしなかった	無回答	回答者数
28人	7人	0人	0人	0人	0人	35人
80%	20%	0%	0%	0%		

4. 今後、どんなイベントに参加してみたいですか？（いくつえらんでも良い）

A: 科学実験	B: ロボットのお話	C: 電子工作	D: パソコン教室	無回答	合計(のべ)
28人	15人	11人	6人	0人	92人
30%	16%	12%	7%		

E: 天体観測	F: 建築模型づくり	G: その他	その他の内容:
14人	15人	3人	なんでも(2), 動物の観察(1)
15%	16%	3%	

5. その他、感想がありましたら、自由に書いてください。

・おもしろかった<6>（おもしろかったです。<4>／とてもおもしろかったです。／おもしろかったです。またお願いしたいと思います。この度も急にお願したのにありがとうございました。）

・たのしかった。<8>（とても楽しかった<2>。／すごく楽しかったです。／楽しかったです。またしたい！／楽しかった。次はハンカチを凍らせたい。／すごく楽しかったです。私も高専に入りたいと思いました。／大人も子どもも、とても楽しめました。貴重な体験で勉強になりました。ありがとうございました。／とても楽しい時間でした。子供がまた参加したいと言っていました。）

・もっと勉強したい

・貴重な体験ありがとうございました。不思議な体験をしてまだまだ知らない事が多ーいなぁと感じました。今日はありがとうございました。

* 一部保護者が記載

(出典 総務課企画協力係資料)

資料B-1-②-3 講座内容の見直し

平成 18 年 3 月 23 日

平成 19 年 1 月 12 日

2005 年度 物質工学科科会議事録（第 16 回）

2006 年度 物質工学科科会議事録（第 16 回）

日時：平成 18 年 3 月 23 日（木）15:00～16:20

場所：資料室

出席：澤、坪井、小田、山本、竹中、藤井、田原、松原、大谷

欠席：池田、青木、岡部

書記：小川

日時：平成 19 年 1 月 12 日（金）16:30～17:15

場所：資料室

出席：小田、坪井、池田、山本、竹中、青木、藤井、田原、岡部、小川、大谷

欠席：澤、松原

書記：里村

1. 学科長会議報告 3/15

下記の項目について学科長より報告があった。

7) 平成 18 年度公開講座等について

例年通り実施する（当科：親子ふれあい科学教室、中学生の科学体験講座）。

出前講座は個人的に実施する（学科長より、応援要請があった）。

2. 平成 19 年度公開講座について

中学生の化学体験講座についてテーマ、担当者の報告があった。

(出典 平成 18 年 3 月 23 日，平成 19 年 1 月 12 日 物質工学科科会議事録)

資料B-1-②-4

「ミニたたら製鉄によるものづくり教室」の「奨励賞」受賞

平成18年12月4日(月曜日)

文 教 ニ ュ ー ス 第1910号



表彰式の模様



賞状伝達式(11月21日、校長室)

り組みを続けている。

すの発展を図りながら取
講座とし、今後ますます
って地域の子供達を育む
を通じ、地域が一丸とな
りのものづくり体験学習
話など協力を得た。手作
「くらしと鉄」に関する講
の指導、「和鉄の歴史」、
炉の製作やたたら操業法
員)、河添久美教授には、
生)、永井徹氏(同校卒業
の山本裕二氏(同校卒業
当たつては、和鐵研究家
ものであり、講座開設に
年前から取り組んできた
ンター」が中心となり3
米子高専「ものづくりセ

米子高専は地域連携事業・公開講座「ミニたたら製鉄によるものづくり教室」が(財)素形材センターから表彰「奨励賞」を受けた。

この講座は、小学生の親子を対象とし、親子での体験学習を通してものづくりへの興味や関心を喚起することを目的に、「鳥取県民カレッジの一環」として実施した。

米子高専 ものづくりコラボレーション表彰(奨励賞)

表彰は、素形材技術を使ったものづくりを通し、ものづくりの面白さ、工業技術の醍醐味を実感しながら素形材の重要性を幅広く地域社会に啓発する活動に対して送られるものであり、11月17日東京都港区の機械振興会館において表彰式が行われた。

「ミニたたら製鉄によるものづくり教室」は、

(出典 文教速報 平成18年12月4日付)

資料B-1-②-5 平成19年度開講予定の公開講座一覧

平成19年度 公開講座等開設予定

地域共同テクノセンター

公開講座は、企画協力係まで TEL: 0859-24-5007 FAX: 0859-24-5009 E-Mail: kikaku@yonago-k.ac.jp
文化セミナーは、図書館情報センターまで TEL: 0859-24-5028 FAX: 0859-24-5269 E-Mail (4/1以降): gakujo@yonago-k.ac.jp

申し込み問い合わせ先

No.	イベント名	対象	募集人数	開催期間	時間帯	時間	開催会場	受講料	傷害保険	備考
1	建築技術者のための建築構造再入門講座 〔2級建築士学科(構造)試験対策講座〕	建築関係実務者	10~40	6/24(日)	9:00~17:00	7H	本校	6,400円	不要	新規
2	親子ふれあい科学教室	本校近隣の小学校高学年生と保護者	60 (30組)	7/22(日)	9:00~16:00	6H	本校	教材費1,000~ 2,000円程度	要	継続
3	中学生のためのやさしい電子制御回路教室	中学生	20 (各10)	7月又は8月	13:00~16:30	3.5H	県立倉吉赤茶中心 県立県民文化会館	教材費2,000円程度	要	継続
4	エンジンヨイ科学館	中学1・2年生	60	7月下旬又は8月上旬	10:00~15:00	4H	本校	教材費1,000~ 3,000円程度	要	継続
5	初心者のためのパソコン教室	一般・社会人	20	8/2(木)~8/27(月) 月・木の7回	18:00~20:00	14H (2H*7)	本校	7,400円	不要	継続 (変更)
6	リサイクル工作でインテリリア雑貨を作ろう	小学3~4年生 保護者同伴可	15	8/4(土)	10:00~16:00	5H	本校	教材費1,000円程度	要	新規
7	レゴ(R)でレスキューロボットを作ろう	中学生	10	8/11(土)、8/12(日)	10:00~16:00	10H (5H*2)	本校	0円	不要	新規
8	金属のふしぎ体験(金属でキーホルダーを作ろう)	小学5・6年生 (保護者同伴可能)	15	8/22(水)	9:00~15:00	5H	本校	教材費1,000円程度	要	継続 (変更)
9	中学生のためのプログラミング入門「米子高専 Robocode Cup開催！」	中学生	20	8/24(金)、8/25(土)	10:00~16:00	10H (5H*2)	本校	教材費2,500円程度	不要	継続 (変更)
10	木のあかりづくり体験	中学生	20	9/8(土)	10:00~15:00	4H	本校	教材費3,000円程度	要	新規

【文化セミナー】

No.	イベント名	対象	募集人数	開催期間	時間帯	時間	開催会場	受講料	傷害保険	備考
1	【第1回】 「鳥取県におけるバス交通の現状と課題」	一般	40	5/26(土)	14:00~16:00	2H	米子市公会堂	無料	不要	継続
2	【第2回】 「いきいき健康づくり～見直そう生活習慣、予防しよう生活習慣病～」	一般	40	6/23(土)	14:00~16:00	2H	米子市公会堂	無料	不要	継続
3	【第3回】 「私たちの暮らしと酵素」	一般	40	10/27(土)	14:00~16:00	2H	米子市公会堂	無料	不要	継続
4	【第4回】 「おもしろ静電気のほなし」	一般	40	11/24(土)	14:00~16:00	2H	米子市公会堂	無料	不要	継続

【ジョイント講座】

No.	イベント名	対象	募集人数	開催期間	時間帯	時間	開催会場	受講料	傷害保険	備考
1	いろいろなロボットについて学ぼう！	小学生・保護者	30	7月~8月	13:00~15:00	2H	米子市児童文化センター	無料	不要	新規
2	宇宙を見よう！	小学5年生 中学生 保護者	20 (10組)	未定	未定	未定	米子市児童文化センター	無料	不要	継続

(出典 総務課企画協力係資料)

資料B-1-②-6 公開講座等助成金規定

運営会議

17.12.21

平成17年度公開講座等助成金の配分について(案)

公開講座、出前講座を実施した教員に校長裁量経費に公開講座の収入額を加えたものから「公開講座等助成金」を配分する。

1. 配分は各講座を実質的に担当した講師に配分する。
2. 配分はポイント制を採用し、次の項目で評価する。
 - (1) 公開講座か出前講座か
 - (2) 開設講座日数
 - (3) 開設時間数
 - (4) 受講者数
 - (5) 受講率 (受講者数/募集者数)
3. ポイントの区分
 - (1) 公開講座

評価項目	ポイント 1	ポイント 2	ポイント 3
開設講座日数	1日	2～3日	4日以上
開設時間数	4時間以下	5～9時間	10時間以上
受講者数	15名以下	16～30名	31名以上
受講率	100%以下	101～140%	141%以上

- (2) 出前講座

1講座3時間以下のものを、ポイントを7点とし、3時間を越えるものは越えた時間一時間毎にポイントに1点加える。

【備考】

- (1) 受講者からの評価が著しく低いものについては、別に審査し、減点する。
 - (2) 受講率が60%以下の公開講座については、総ポイント数に0.8を乗じたものを総計として換算する。
 - (3) ポイント区分に著しい不都合が生じたときには、これを見直す。
4. 配分額
 - ・ 配分の基本となる金額は、校長裁量経費100万円に、当該年度の公開講座の収入額を加えた額とする。
(配分額とし、平成17年度の配分額は、1,538,950円)
 - ・ 配分額を全ポイント数で除した額に、各講師のポイント数に乗じて配分する。
 5. 配分時期
 - ・ 助成金が有効に利用されるよう、配分時期は、当該年度の12月初旬とし、12月以降に行われた対象講座への補助は、次年度回しとする。

(出典 平成17年12月21日 運営会議資料)

資料B-1-②-7 平成18年度一般市民による図書館利用状況

平成18年度一般市民による図書館利用状況

区分	学生	教職員	校外者	合計
入館者数	44,366人		134人	44,500人
図書貸出者数	4,915人	263人	96人	5,274人
図書貸出冊数	9,332冊	577冊	262冊	10,171冊

(出典 学術情報係資料)

資料B-1-②-8 平成18年度一般市民による体育施設利用状況

平成18年度一般市民による体育施設利用状況

期日	時間	場所	人員	使用料
18.11.18	13時～17時	第一体育館	50人	1,980円

(出典 財務係資料)

資料B-1-②-9 平成16～18年度研究生，聴講生および科目等履修生制度利用状況

研究生，聴講生，科目等履修生数

年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
研究生	1(A科)	1(A科)	1(専攻科)
聴講生	0	0	0
科目等履修生	0	0	0

括弧内はそれぞれの所属

(出典 学生課資料)

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とし、内容も理系だけでなく文系も含めた幅広い分野の各種講座を実施している。開講件数も多く、正規課程学生以外へ多くの学習機会を提供している。公開講座では本校の施設設備を開放し、有効活用をしている。また、各講座を実施する教員へインセンティブとして一定額の研究費を配分し、正規課程学生以外への教育サービスの活性化を図っている。本校図書館では、鳥取県立図書館、米子市立図書館と連携し、相互に蔵書の貸出が可能である。

(改善を要する点)

該当なし

(3) 選択的評価事項Bの自己評価の概要

本校は、鳥取県西部地域に存在する唯一の工業系の高等教育機関として、地域社会の発展に貢献するための地域密着型の開かれた高専になることを目的のひとつとしている。この目的の達成のため、実施に必要な組織（地域共同テクノセンター・図書館情報センター）・制度・改善システム等を設けて、公開講座・出前講座・ジョイント講座・図書館開放・研究生・聴講生等の制度等、正規課程の学生以外に対する教育サービスを計画的に実施している。

本校が開講している公開講座等は、高い満足度を達成しており、開講した講座件数と総受講者数が平成18年度には急増していることから、大きな活動の成果があったことが分かる。これらの講座を実施した教員には、インセンティブとして一定額の研究費を配分し、地域貢献活動の活性化を図っている。また、米子市教育文化事業団との連携協定を結ぶなど、活動の強化にも努めている。

図書館については、鳥取県立図書館などとの連携による相互貸出システムの導入により広く施設・設備を利用してもらうための取組を行っている。

(4) 目的の達成状況の判断

目的達成状況が良好である。